手賀の杜自主防災だより

平成３１年１月６日
２０１８年度ー第３号
手賀の杜自主防災組織

自分らでやらずに誰がやる？

★大規模災害発生後に起こる可能性が高いこと☆

まもなく東日本大震災発生から８年が経過します。この機会に大規模災害発生時に起こり得ることを基に、日頃から対応策を各世帯でしっかり考え、用意しておきましょう。

ライフライン供給は長時間シャットアウト

昨年夏の北海道胆振東部地震では、およそ半月から地域によっては約一か月間、電気･ガス･水道の供給が停止、多くの地元住民は大変苦しい生活を強いられました。

同じことが柏市で起こらない保障はありません。
最悪を想定し、自助として水や食料品などの生活必需の備えを先ずは家族単位で必ず執っておきましょう。《裏面も参照願います》

- 自分や同居家族の５日～一週間分の飲料水や食料の確保
- 当座の飲料水は最寄りの応急給水所でも入手可能
- 浴槽には常に水をはる、残り湯を貯めておく【生活用水の確保】
- 暖を採るための暖房機器、携帯用ガスコンロとそのボンベ、衣類や寝具はいつでも物置や収納棚から取り出して使えるようにしましょう
- 処方薬剤･乳幼児のミルク･オムツなどの特定家族用品は常に多めの蓄えを習慣にし、それが四分の一まで減ったら買い足しすることに努めましょう（２５％の習慣その①）

- 自動車･二輪車はガソリン油量残が四分の一を割ったら給油する習慣をつけましょう（２５％の習慣その②）

次頁も一読ください

本紙面は手賀の杜自治会ホームページでも閲覧が可能です。お手元のスマートフォンやアイフォンなどで検索してご覧ください。

柏市の備蓄量では一度に４０万市民を支えることは到底出来ず、外部からの支援物資も、首都直下地震後は決してあてにできません。他所に頼らず各世帯単位で水と食料は確保しましょう。

私たちの応急給水所は何処？

風早北部地域は「大津ヶ丘中学校」「岩井水源地」「手賀の杜一丁目ひだまりの公園」「ニッカウヰスキー柏工場」「二松学舎大学」などで一人２リットルまでの給水が可能です。但し、大混乱を避けるため車両での来場は控えましょう。

自家用車内は第二の避難所です

そのためにはガソリンなどの燃料は欠かせません。電気自動車はいざという時の充電場所を常に考えておきましょう。

水洗トイレが流せない（熊本地震ではあちこちで公衆トイレが大渋滞でした！）

トイレ用水の供給停止とともに下水管の損壊で家庭の水洗トイレが流せなくなる状況に陥ります。対応策として、携帯トイレや凝固剤＆消毒剤付き(便)袋を半月分以上、各家庭で用意しましょう。